

第1回福祉とアートのオンライン交流会



いばらき
障害者
芸術文化
活動支援
センター

準備室

2021.12.10 FRI 19:00-20:30 ZOOM

茨城県で障害者芸術文化活動支援センター準備室が始動します！
準備室では、「福祉」と「アート」をキーワードに、継続的な学びの場やフラットなネットワークをつくっていきたくと思っています。ぜひ、お気軽にご参加ください。

第1回 福祉とアートのオンライン交流会

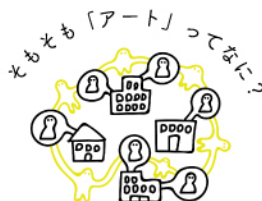
《福祉に「アート」は何ができるのか？教えてください。》

日時 | 12月10日(金) 19:00 - 20:30 [18:30 開場]

会場 | Zoom (オンライン)

対象 | どなたでも

定員 | 20名程度 (先着)



お申し込み方法 |

Google フォームまたはメールよりお申し込みください。

お申し込み後、メールで Zoom の URL をお送りいたします。

【Google フォーム】

右の QR コードを読み取り、お申し込みください。

URL : <https://forms.gle/mbTSpoJiMj4kRkwb7>



【メール】

件名を「オンライン交流会」と入力し、

氏名・連絡先・人数を明記の上、お申し込みください。

E-mail : ibafuku@ibachu.ac.jp

※参加方法についてのご相談は、お電話でも受け付けています。

お気軽にお問い合わせください。電話:080-6862-5402(小堀)

お知らせ

第1回 オンラインシンポジウム 開催予定！2022年2月、県内施設の事例や哲学を学び合うシンポジウムを予定しています。オンラインでご視聴いただけます。詳細は、チラシやメール等でお知らせいたします。たくさんのご参加お待ちしております。

令和3年度 厚生労働省 障害者芸術文化活動普及支援事業

主催 | 南東北・北関東広域支援センター (NPO 法人エイブル・アート・ジャパン)
社会福祉法人 北養会

ROKUROKURIN 合同会社

後援 | 茨城県

お問い合わせ

社会福祉法人 北養会 いばふく事務局

所在地: 茨城県水戸市鯉淵町 2222-2 番地 いばらき中央福祉専門学校内

電話: 080-6862-5402 (担当: 小堀) / E-Mail : ibafuku@ibachu.ac.jp

福祉に「アート」は何ができるのか？教えてください。

障害者芸術文化活動支援センターとは

厚生労働省では、障害のある人たちの芸術文化活動の振興を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に、自治体や民間団体と協力し、「障害者芸術文化活動普及支援事業」に取り組んでいます。障害のある人が芸術文化を享受し、多様な活動を行うことができるよう、支援拠点として「障害者芸術文化活動支援センター」を都道府県に設置し、絵画や陶芸などの美術分野、演劇や音楽、舞踊などの舞台芸術に関する多様な支援事業を展開しています。(障害者芸術文化活動普及支援事業ウェブサイトより)

茨城県の支援センター準備室では、障害がないに関わらず、表現する自由について多様な立場のみなさんと話し合い、実践する機会や仕組みを創出したいと考えています。

準備室

M E M B E R



小堀 幸子 Yukiko Kobori

水戸市生まれ。いばふくの企画・広報担当。社会福祉法人 北養会所属。東京学芸大学大学院修了。美術教科書会社の編集部で12年働きフリーランスに。2011年に水戸に戻り、医療・福祉企業の広報に就き現在に至る。※いばふく…茨城から福祉で世界を元気にするプロジェクト



ミヤタユキ Yuki Miyata

水戸市生まれ、常陸太田市在住。ROKUROKURIN 合同会社代表。東京藝術大学大学院修了。自宅を「六六六」^{ロク}と名付け、国内外アーティストの滞在、プロジェクトの活動拠点などとしている。県内の主な活動に、「SCOI-水府コイノポリプロジェクト」、茨城県北芸術祭 2016 など。

NPO 法人エイブル・アート・ジャパン

「社会の芸術化、芸術の社会化」をキーワードに活動する NPO 法人。東日本大震災の復興支援活動に従事し、平成29年度から障害者芸術活動支援センター@宮城(愛称: SOUP)を開設、令和3年度からは同事業の南東北・北関東広域支援センターを担当。

デザイン/写真: 津田翔平 (NPO 法人自然生クラブにて撮影)